令和７年度美瑛町議会予算審査特別委員会資料

事　業　概　要　書

目　　次

款	項	目	事　　業　　名	ページ
02	01	07	地域脱炭素推進事業	1
02	01	07	地域活動推進一括交付金事業	2
02	01	07	集落支援員管理事業	3
02	01	07	東部地区コミュニティ施設（仮称）整備事業	4
02	01	07	関係人口創出事業	5
02	01	08	地域おこし協力隊管理事業	6
02	01	09	定住住宅取得助成事業	7
02	03	01	戸籍管理事業	8
02	03	01	コンビニ交付システム管理事業	9
03	01	02	除排雪サービス事業	10
03	01	03	地域生活支援事業	11
03	01	07	介護予防・日常生活支援総合事業	12
03	02	01	一時預かり事業	13
03	02	02	どんぐり保育園施設改修事業	14
04	01	01	老人保健施設改修事業	15
04	01	02	妊産婦支援事業	16
04	01	06	「星空の街・あおぞらの街」全国大会事業	17
06	01	02	鳥獣等被害防止対策事業	18
06	01	03	白金牧場管理運営事業	19
06	03	02	森林環境保全整備事業	20
07	01	02	電子地域通貨運営事業	21
07	01	02	中小企業等経営力強化事業	22
07	01	02	空き店舗等活用推進事業	23
07	01	03	観光地混雑状況可視化システム導入事業	24
07	01	03	オーバーツーリズム対策事業	25
07	02	04	十勝岳ジオパーク推進事業	26
07	02	07	スケートボード遊具設置事業（まちづくり提案）	27
07	02	07	野球場改修事業	28
07	02	07	スポーツセンターボイラー改修事業	29
08	01	01	住宅リフォーム等助成事業	30
08	02	02	朗根内上俵真布線道路改良舗装事業	31
08	02	02	赤羽下宇莫別線道路改良舗装事業	32

目　　次

款	項	目	事　　業　　名	ページ
08	02	02	新区画第１支線道路舗装事業	33
08	02	02	第２号幹線道路改良舗装事業	34
08	02	02	美沢１２線道路改良舗装事業	35
08	04	01	千代田公園改修事業	36
08	04	01	くるみ公園改修事業	37
08	04	02	旭町３・４丁目６号線道路改良舗装事業	38
08	04	02	花園１丁目２番線道路改良舗装事業	39
08	05	02	東町団地ストック総合改善事業	40
08	05	02	安心子育て住まい整備事業	41
10	01	03	学校給食管理運営事業	42
10	02	02	小学校情報教育推進事業	43
10	03	02	中学校情報教育推進事業	44
水道事業			中央通り線配水管布設替工事	45
			南町栄町線配水管布設替工事	46
			置杵牛第１配水池水位計新設工事	47
町立病院事業			医療機器購入一式	48

令和７年度　事業概要書	所 管 課	まちづくり推進課

事 業 名	地域脱炭素推進事業	予算書	４４頁
事 業 費	１１，１５４千円		

財源内訳

特　定　財　源　の　内　訳	
名　　称	金　額
丘のまちびえいまちづくり基金繰入金	10,000
地域づくりセミナー開催支援金	300
特 定 財 源 合 計	10,300
一 般 財 源	854

事業概要

2050 年脱炭素社会の実現に向けて、本町における 2050 年までの二酸化炭素削減目標を見据えた事業推進を図る。

事業内容・効果等

○目的・効果

ゼロカーボンシティの実現のため、省エネ・再エネをより一層の推進を図るとともに、町内の環境保全に対する意識醸成を図るための各種取り組みを実施する。また、エア・ウォーター北海道㈱における「ふるさと応援英知プログラム」に採択されたことによる農業残渣を活用した加温ボイラーの実証事業を産官学連携のもと実施する。

○内容

１　ゼロカーボンセミナーの開催
２　美瑛町ゼロカーボン推進協議会運営事業
３　ふるさと応援プログラム補助金

○実績・経過

令和６年度から再生可能エネルギー設備等導入事業補助金制度を実施。令和７年度からは、補助申請者への補助は電子地域通貨行政ポイントにて付与する。

※令和６年度再生可能エネルギー設備等導入事業補助金実績

住宅用太陽光発電設備・定置用蓄電池設備：４件
木質燃料ストーブ　：４件
電動生ごみ処理機　：５件
補助金支出計　：2,491 千円

○費用内訳

報酬　72 千円
報償費　189 千円
旅費　363 千円
負担金補助及び交付金　10,530 千円

令和７年度　事業概要書	所 管 課	総務課

事 業 名	地域活動推進一括交付金事業	予算書	４６頁
事 業 費	１６，９９１千円		

財源内訳		
	特 定 財 源 の 内 訳	
	名　　称	金　額
	特 定 財 源 合 計	
	一 般 財 源	16,991

事業概要

従前の様々な交付金や補助金を一括で交付するとともに、各制度の助成範囲の拡充、各種事務手続の簡素化のほか、今後新たに支援が必要なる制度を都度拡充するなど、美瑛町自治基本条例等に基づき、コミュニティ活動を促進するための支援を行うもの。

事業内容・効果等

○目的・効果

地域コミュニティの活性化や地域の特色をいかした魅力ある地域の形成により、町民主体の自治の推進に期待できる。

○内容及び費用内訳

負担金補助及び交付金　計　16,991 千円

（１）行政区・町内会活動費（定額型）　13,641 千円
　①地域社会活動費　4,211 千円
　②町政協力活動費　2,840 千円
　③自治活動拠点維持費　2,250 千円
　④安全安心費　2,820 千円
　⑤支え合い活動費　1,520 千円
（２）地域活性化助成費（個別申請型）　500 千円
（３）自治活動拠点整備費（個別申請型）　1,000 千円
（４）安全安心施設等整備費（個別申請型）　1,300 千円
　①防災資機材等整備費　100 千円
　②防犯灯整備費　1,000 千円
　③ゴミステーション等整備費　200 千円
（５）環境美化活動推進費（個別申請型）　550 千円
　①環境美化活動推進費　150 千円
　②環境維持機械導入費　300 千円
　③町有財産維持管理費　100 千円

○その他参考事項（本制度により統合・一部統合した既存補助金等）

行政区長・町内会長等事務取扱交付金、行政区会館運営費等補助金、防災資機材整備等補助金、地域振興奨励補助金、街路灯設置費等補助金、ｺﾞﾐｽﾃｰｼｮﾝ施設整備補助金、環境美化活動推進補助金、公園管理報奨金

令和７年度　事業概要書	所 管 課	総務課

事 業 名	集落支援員管理事業	予算書	４６頁
事 業 費	８，２３８千円		

財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳	
	名　　称	金　額
	特 定 財 源 合 計	
	一 般 財 源	8,238

事業概要

人口減少及び高齢化の著しい社会情勢において、町民と行政の協働の下、時代の変化に対応した地域の維持・活性化を図るため、地域の実情に詳しく、集落支援の推進に関してノウハウを有する人材を「集落支援員」として配置し、地域づくり活動の支援を行う。

事業内容・効果等

○目的・効果

過疎地域の集落の維持・活性化、地域づくりを主体的に担うコミュニティ組織の基盤強化、地域それぞれの特性をいかした魅力ある地域づくりに期待できる。

○内容・計画

１　任用型支援員（Ｒ７配置計画：１人）

会計年度任用職員として町が任用する支援員。役場組織に常駐し、地域と行政の橋渡し的な役割など、町全域の調整役を担う。

２　委託型支援員（Ｒ７配置計画：２人）

地域づくり活動を担う法人又は団体と委託契約を締結し委嘱する支援員。集落点検等で地域の維持・活性化に必要となる取組等が整理された特定地域において自治活動を支援する。

３　集落支援員の主な活動

（１）集落点検の実施に関すること。

（２）地域の維持・活性化についての話合いに関すること。

（３）具体的方策の検討及び実施に関すること。

（４）地域と行政又は関係機関との連絡調整に関すること。

○費用内訳

１	報酬	2,016 千円	任用型支援員１人分（専任）
２	職員手当等	509 千円	〃
３	共済費	413 千円	〃
４	需用費	50 千円	〃
５	委託料	5,250 千円	委託型支援員２人(専任・兼任各１人)

○その他参考事項（集落支援員の設置に対する特別交付税の措置額）

専任 4,850 千円、兼任 400 千円

令和７年度　事業概要書	所 管 課	総務課

事 業 名	東部地区コミュニティ施設（仮称）整備事業	予算書	４６頁
事 業 費	６９０，７４８千円		

財源内訳

特　定　財　源　の　内　訳	
名　　称	金　額
新しい地方経済・生活環境創生交付金	237,389
林業・木材産業構造改革事業補助金	3,000
森林環境譲与税基金繰入金	14,000
辺地対策　東部地区コミュニティ施設（仮称）整備事業債	413,000
特 定 財 源 合 計	667,389
一 般 財 源	23,359

事業概要

誰もが身近な地域で世代を超えた交流を図り、新たな人のつながりを生むことで、元気でいきいきとした持続的な地域づくりを進めるため、多世代が関わる機能を有した複合施設を整備する。

事業内容・効果等

○目的・効果

地域活動を取り巻く環境の変化によって自治組織が抱える課題も複雑化している中、特定の年齢層や利用者を対象にしていた複数の施設を一つに融合することで、身近な地域の中で世代を超えた交流が図られ、新たな人のつながりが創出されることにより、元気でいきいきとした持続的な地域づくりに期待できる。

○全体計画

１　事業期間　　令和５年度～令和８年度（予定）
２　事業概要　　地域コミュニティ施設（仮称）整備一式
３　総事業費　　746 百万円（予定）

○実績・経過

１　事業概要　　基本設計業務、実施設計業務、朗根内へき地保育所解体工事　各一式
２　事 業 費　　33,908 千円

○内容

木造平屋建て　N=1 棟、A=755.34 ㎡（228.49 坪）
（１）おじいちゃんおばあちゃんの家（小規模多機能施設）　190.16 ㎡
（２）こどもとみんなの家（会館、保育所、子どもの居場所）304.32 ㎡
（３）ちいきの食堂（加工室、カフェ、直売所）　260.86 ㎡

○費用内訳

１　手数料　　515 千円（確認申請事務手数料）
２　委託料　　8,052 千円（建設工事監理業務）
３　工事請負費　635,481 千円（建築及び外構工事）
４　備品購入費　46,700 千円（農産物加工室機器類等）

令和７年度　事業概要書	所 管 課	まちづくり推進課

事 業 名	関係人口創出事業	予算書	４６頁
事 業 費	６，８１１千円		

財源内訳

特　定　財　源　の　内　訳	
名　　称	金　額
新しい地方経済・生活環境創生交付金	920
丘のまちびえいまちづくり基金繰入金	5,800
特 定 財 源 合 計	6,720
一 般 財 源	91

事業概要

東京都や大阪府への企業訪問に加え、大学・企業等との連携事業を実施する。大学・企業等と町及び町民とが多様に関わり、ノウハウの提供や新たな人流が生まれ、協働して取り組むことによる町の活性化に関わる様々な効果を期待する。

事業内容・効果等

○目的・効果

人口減少が進むことで直面する地域づくりの担い手不足に対応するため、町民と町外の人が交流し関係を深めることができる「場」をつくり、町外の人との継続的なつながりに発展させることを目的として、関係人口の創出・拡大を図る。

○内容

1　企業への訪問による関係性の構築と深度化
2　企業や大学等との連携イベントの実施
3　専門人材の雇用による関係人口の継続・深化

○費用内訳

1　報酬　2,880 千円（関係人口コーディネーター）
2　職員手当等　1,072 千円（同上）
3　共済費　611 千円
4　旅費　400 千円（東京 4 回）
5　役務費（広告料）　54 千円
　メールマガジン配信料
6　負担金補助及び交付金　1,794 千円
　美瑛シティプロモーション実行委員会

令和７年度　事業概要書	所 管 課	総務課

事 業 名	地域おこし協力隊管理事業	予算書	５２頁
事 業 費	９，７０８千円		

財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳	
	名　　称	金　額
	特 定 財 源 合 計	
	一 般 財 源	9,708

事業概要

本町で活動している地域おこし協力隊への起業・事業承継に係る支援及び「おためし地域おこし協力隊」「地域おこし協力隊インターン」などの人材確保の手法を活用することにより、多様な人材が地域の活性化に多面的に寄与することを期待する。

事業内容・効果等

○目的・効果

町内での起業・事業承継を目指す地域おこし協力隊に対し、円滑に事業展開を実施するための補助を行うことで、任期終了後においても地域に根差した活動となるよう支援を行う。

また、「おためし地域おこし協力隊」「地域おこし協力隊インターン」の実施により、新たな地域おこし協力隊への任用につなげるなど多様な手法で人材の確保を図るとともに、関係人口の拡大に期待できる。

○内容・計画

１　起業・事業承継補助

町内で新たに事業を展開する、若しくは後継者不足等の課題を抱える事業を引き継ぐ者に対し、設備費等の補助を行う。

２　おためし地域おこし協力隊

２泊３日程度で、町の特性、課題等を知るための地域活動を実施する。

３　地域おこし協力隊インターン

２週間～３か月程度で、地域おこし協力隊としての採用を見据えた地域活動を実施する。

○費用内訳

報酬：1,008 千円、旅費：700 千円、負担金補助及び交付金：8,000 千円

○その他参考事項（特別交付税措置対象）

おためし地域おこし協力隊経費	：１自治体当たり	1,000 千円
地域おこし協力隊インターン経費	：報酬１人１日当たり	12 千円
募集ＰＲ経費	：１自治体当たり	3,000 千円
起業・事業承継経費	：１人当たり	1,000 千円

令和７年度　事業概要書	所 管 課	住民生活課

事 業 名	定住住宅取得助成事業	予算書	５４頁
事 業 費	２０，０００千円		

財源内訳

特　定　財　源　の　内　訳	
名　　称	金　額
森林環境譲与税基金繰入金	1,000
特 定 財 源 合 計	1,000
一 般 財 源	19,000

事業概要

美瑛町内に初めて住宅を取得した者に対して、その取得費用の一部を助成することで負担を軽減し、定住促進を図る。

基本助成額　　新築　５０万円／中古　３０万円
転入者加算　　２０万円（転入から３年以内）
子育て加算　　１８歳未満の子ども一人当たり１０万円
町内業者加算　町内業者が施工した場合　１００万円
地域材加算　　美瑛町産木材を使用した場合　上限１００万円

事業内容・効果等

○目的・効果

住宅取得を支援することにより、安定した財源（固定資産税・都市計画税など）の確保が見込まれるとともに、中古住宅が市場に流通することで、空き家対策となる。

また、転入者加算及び子育て加算の上乗せにより当該世帯が定住することで、地域コミュニティの維持に貢献することが見込まれる。

さらに、町内業者加算及び地域材加算の上乗せによる町内経済への波及効果が期待できる。

○実績・経過

平成２９年度の事業開始から令和６年度までの８年間で、延べ２５３件の助成実績となっている。（新築１６９件／中古８４件）

○費用内訳

１　基本助成額

（１）新築住宅	20 件	×	500 千円	＝	10,000 千円
（２）中古住宅	10 件	×	300 千円	＝	3,000 千円
２　転入者加算	15 件	×	200 千円	＝	3,000 千円
３　子育て加算	20 人	×	100 千円	＝	2,000 千円
４　町内業者加算	1 件	×	1,000 千円	＝	1,000 千円
５　地域材加算	1 件	×	1,000 千円	＝	1,000 千円

令和７年度　事業概要書	所 管 課	住民生活課

事 業 名	戸籍管理事業	予算書	６６頁
事 業 費	８３，５４６千円		

財源内訳

特　定　財　源　の　内　訳	
名　　称	金　額
デジタル基盤改革支援補助金	62,113
印鑑証明・印鑑登録再交付手数料	765
税証明・身分証明・その他証明	344
戸籍謄抄本・戸籍証明・除籍謄抄本	1,834
住民基本台帳証明	1,370
社会保障・税番号制度整備費補助金	4,899
中長期在留者住居地届出等事務委託金	173
特 定 財 源 合 計	71,498
一 般 財 源	12,048

事業概要

戸籍事務、住民基本台帳事務、印鑑登録証明事務、年金事務及び外国人中長期在留者事務等を行う。

事業内容・効果等

○目的

法定受託事務である戸籍事務等について、地方自治体の基幹業務における経費を計上し、安定的な行政運営を図る。

○内容・計画

デジタル手続法による戸籍法の改正等により、戸籍情報システムのネットワーク化等の改修を進めている。令和７年度は、国が進めるデジタル社会の実現に向けた重点計画により、ガバメントクラウド上に構築された標準準拠システムへの移行及び戸籍の記載事項に氏名の振り仮名が追加されたことに伴い、本籍人に対する振り仮名の通知業務を行う。

○費用内訳

１	旅費	26 千円
２	需用費（消耗品費）	142 千円
３	役務費（通信運搬費）	544 千円
４	委託料	77,930 千円
（１）	ガバクラ移行業務	63,583 千円
（２）	振り仮名通知等業務	7,704 千円
（３）	その他保守業務等	6,643 千円
５	使用料及び賃借料	4,894 千円
６	負担金補助及び交付金	10 千円

令和７年度　事業概要書	所管課	住民生活課

事業名	コンビニ交付システム管理事業	予算書	６６頁
事業費	８，５８９千円		

財源内訳	特定財源の内訳	
	名称	金額
	特定財源合計	
	一般財源	8,589

事業概要

住民票の写し、印鑑登録証明書、所得・課税証明書を全国のコンビニエンスストア等に設置するマルチコピー機で取得できるよう、令和６年度に構築したコンビニ交付システム等の維持管理を行う。

事業内容・効果等

○目的・効果

休日や夜間を含め全国のコンビニエンスストア等で対象の証明書を取得することが可能となり、町民の利便性の向上が図られる。

また、役場窓口の混雑の緩和等、来庁者へのより丁寧な住民サービスの提供が期待できる。

○内容

コンビニ交付システムの保守管理経費のほか、地方公共団体情報システム機構への負担金を計上しており、令和７年度については、総合行政情報システムの標準化に伴うシステム改修費用を計上している。

○費用内訳

１	需用費（消耗品費）	64 千円
２	役務費（手数料）	204 千円
３	委託料	7,630 千円
（１）	保守管理業務	2,759 千円
（２）	システム改修業務	4,871 千円
４	負担金補助及び交付金	691 千円

令和７年度　事業概要書	所 管 課	保健福祉課

事 業 名	除排雪サービス事業	予算書	７６頁
事 業 費	２，２２５千円		

財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳	
	名　　称	金　額
	豪雪地帯安全確保緊急対策交付金	1,112
	特 定 財 源 合 計	1,112
	一 般 財 源	1,113

事業概要

高齢者世帯等で冬期間の積雪により外出等の日常生活に支障をきたす人に対して、安心して在宅生活ができるよう必要に応じて除雪その他の費用助成及び支援を実施する。

事業内容・効果等

○内容

１　屋根からの落雪等により外出等日常生活に支障が出る敷地内生活道等の除排雪に係る費用の助成

２　屋根雪対策等に係る費用の助成

※物品購入費用（雪止め、窓囲い、雪庇落とし用具等）及び施工費用

※１、２とも現況に対応した支援とする。

○対象者

近親者等の協力が得られない下記のいずれかに該当する町民税非課税世帯（生活保護世帯を含む。）

１　要支援・要介護認定者又は障がい者のみで構成される世帯

２　疾病等により除雪が困難な概ね 70 歳以上の方のみで構成される世帯

３　高齢者世帯等通路出入り口の除雪（シルバーポール）を利用する世帯のうち、町長が必要と認めた世帯

４　その他町長が必要と認めた世帯

○助成額

年額 30 千円を補助上限額とし、費用の 3/4 を助成

○費用の内訳

扶助費　2,225 千円

令和７年度　事業概要書	所 管 課	保健福祉課

事 業 名	地域生活支援事業	予算書	８０頁
事 業 費	９，７２７千円		

財源内訳

特　定　財　源　の　内　訳	
名　　称	金　額
地域生活支援事業費補助金（国庫補助金）	3,890
地域生活支援事業費補助金（道補助金）	1,945
特 定 財 源 合 計	5,835
一 般 財 源	3,892

事業概要

本事業は、障がいのある人が自立した日常生活及び社会生活を送ることができるよう、地域の実情に応じた各種サービスを提供するもの。

事業内容・効果等

○目的

障がいのある人が、自立した日常生活及び社会生活を送ることができるよう、地域の実情に応じた事業を計画的に実施し、障がい者等の福祉の増進を図るとともに、障がいの有無に関わらず町民が相互に人格と個性を尊重し安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与する。

○内容

地域の実情に応じた柔軟な事業形態の中で、次の事業を実施する。

1　理解促進・啓発事業（ヘルプマーク、啓発活動等）
2　自発的活動支援事業（町民主体による事業実施等への支援）
3　意思疎通支援事業（手話通訳者、要約筆記者の派遣等の支援）
4　日常生活用具給付事業（ストマ装具、住宅改修等）
5　手話奉仕員養成研修事業（手話技術等の習得のための研修負担金の支援）
6　移動支援事業（社会参加のための外出の支援）
7　地域活動支援センター事業（創作的活動等の日中活動の支援）
8　日中一時支援事業（日中の一時的な見守り等の支援）
9　訪問入浴サービス事業（在宅入浴が著しく困難な方への支援）

○費用内訳

1　需用費　40 千円（普及啓発に係る消耗品費）
2　委託料　4,390 千円（各種事業実施に係る委託料）
3　負担金補助及び交付金　297 千円（手話通訳者等養成研修に係る負担金等）
4　扶助費　5,000 千円（日常生活用具に係る給付費）

○その他参考事項

・関係法令

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律

令和７年度　事業概要書	所 管 課	保健福祉課

事 業 名	介護予防・日常生活支援総合事業	予算書	８２頁
事 業 費	２８，９６５千円		

財源内訳

特 定 財 源 の 内 訳	
名　　称	金　額
地域支援事業（介護予防事業）交付金	28,965
特 定 財 源 合 計	28,965
一 般 財 源	0

事業概要

要介護状態になることの予防あるいは重症化予防を支援することで、住み慣れた地域で高齢者一人ひとりが生きがいのある生活を送れることを目指し、介護予防・生活支援サービス事業、一般介護予防事業を実施する。

事業内容・効果等

○事業内容

介護保険法の改正により地域支援事業の内容が見直され、平成 29 年 4 月から介護予防・日常生活支援総合事業を実施。

１　介護予防・生活支援サービス事業

（１）訪問型サービス（訪問介護相当サービス）、

（２）通所型サービス（通所介護相当サービス、通所型サービス）、

（３）その他の生活支援サービス（生活支援サービス事業）

２　一般介護予防事業

介護予防把握事業、介護予防普及啓発事業、地域介護予防活動支援事業（サロン活動等）、地域リハビリテーション活動支援事業

○費用の内訳

報酬 2,259 千円、職員手当等 863 千円、報償費 462 千円、
旅費 155 千円、需用費 43 千円、役務費 90 千円、委託料 25,093 千円

○過去の実績

１　介護予防・生活支援サービス事業利用者数

（１）通所型サービスＡ

R1 延 333 人 R2 延 495 人 R3 延 590 人 R4 延 721 人 R5 延 916 人

（２）通所型サービスＣ

R1 延 2 人 R2 延 2 人 R3 延 6 人 R4 延 10 人 R5 延 30 人

（３）生活支援サービス

R1 延 99 人 R2 延 100 人 R3 延 88 人 R4 延 105 人 R5 延 95 人

２　介護予防把握事業利用者数

R1 延 233 人 R2 延 260 人 R3 延 273 人 R4 延 227 人 R5 延 193 人

令和７年度　事業概要書	所 管 課	保健福祉課

事 業 名	一時預かり事業	予算書	８４頁
事 業 費	１０，０６６千円		

財源内訳

特 定 財 源 の 内 訳	
名　　称	金　額
丘のまちびえいまちづくり基金繰入金	6,000
一時預かり保育利用料	499
子育てのための施設等利用給付負担金　ほか（国庫補助金）	1,638
子育てのための施設等利用給付負担金　ほか（道補助金）	1,510
特 定 財 源 合 計	9,647
一 般 財 源	419

事業概要

必要なときに希望する場所で子どもを預かることで、子育て負担の軽減を図りながら健全な養育を支援する。(令和７年度から４事業を統合。)

事業内容・効果等

○目的

一時的に家庭で保育することが困難になった場合に、対象施設や利用者宅等で子どもを預かり、子育て負担の軽減を図るもの。

○効果

必要時に子どもを預かることで、保護者の通院やリフレッシュ等が保障され、家庭保育の安定が図られる。

○内容

１　どんぐり保育園預かり事業

特定教育・保育施設を利用していない満１歳から就学前までの子どもを対象に、事業実施に係る委託料を計上する。

２　びえい青葉幼稚園預かり事業

びえい青葉幼稚園の１号（教育）認定のこどもを対象に、預かりに係る費用を助成する。

３　ＮＰＯ法人預かり事業

町内に居住する０歳から就学前までの子どもを対象に、預かりに係る利用料金の６割（720 円）を助成する。

○費用内訳

１　委託料　　8,387 千円

２　負担金補助及び交付金　1,679 千円

令和７年度　事業概要書	所 管 課	保健福祉課

事 業 名	どんぐり保育園施設改修事業	予算書	８６頁
事 業 費	４１，４３７千円		

財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳	
	名　　称	金　額
	公共施設等整備基金繰入金	40,000
	特 定 財 源 合 計	40,000
	一 般 財 源	1,437

事業概要

どんぐり保育園は、平成７に建築してから約 30 年経過し、施設の老朽化（外壁や軒天等の塗装部の剥がれや亀裂等）が進んでいることから、安心安全な保育を継続するため、危険箇所の改善や保育の効率化等に必要な改修や整備を行うもの。

事業内容・効果等

○目的・効果
安心安全な環境で、児童の健全な心身の発育を図る。

○内容
外壁や軒天等の塗装の剥がれや亀裂が多く見られるため改修する。

○費用内訳
工事請負費　41,437 千円
工 事 内 容　どんぐり保育園外壁塗り替え等

○施設概要
１　構造　　鉄筋コンクリート構造　平屋建て
２　規模　　延床面積　1,485.20 ㎡
３　塗膜　　既存　アクリル系塗膜
※改修では、シリコン系塗膜に改修する

令和７年度　事業概要書	所 管 課	保健福祉課

事 業 名	老人保健施設改修事業	予算書	９０頁
事 業 費	３１，６７６千円		

財源内訳

特 定 財 源 の 内 訳	
名　　称	金　額
緊急防災減災　老人保健施設改修事業債	31,600
特 定 財 源 合 計	31,600
一 般 財 源	76

事業概要

老人保健施設ほの香は、平成１０年に開設してから２５年が経過し、施設の老朽化が進み、計画的なメンテナンスや環境改善が必要となっている。令和７年度においては、施設内の居室や共用空間などで、エアコンが整備されていない空間にエアコン設置工事を行う。

事業内容・効果等

○効果

施設の利用者にとって、安全で快適な施設利用が可能となる。

○内容

現在、老人保健施設ほの香では、一部の居住等の空間にエアコンが設置されているが、居室や事務室を含め、多くの空間でエアコンが設置されていない空間があり、熱中症対策や環境衛生の面からも施設全体のエアコン設置を行う。

○費用内訳

工事請負費　31,676 千円

１　機械設備工事

（１）居室　1 階　15 室

　　2 階　5 室

（２）事務室、施術室等　9 室

（３）食堂、デイルーム、廊下　3 カ所

２　電気設備工事

○過去のエアコン整備経過

R6　1 階厨房、談話室、2 階休憩室、療養室（2 部屋）

R2　2 階談話室、サービスステーション

H19　1 階デイルーム

H18　1 階食堂横廊下

H17　1 階談話室

令和７年度　事業概要書	所 管 課	保健福祉課

事 業 名	妊産婦支援事業	予算書	９２頁
事 業 費	５，２０６千円		

財源内訳

特 定 財 源 の 内 訳	
名　　称	金　額
丘のまちびえいまちづくり基金繰入金	4,500
子ども・子育て支援交付金（国庫及び道補助金）	231
母子保健衛生費補助金	206
北海道不妊治療等助成事業補助金	50
特 定 財 源 合 計	4,987
一 般 財 源	219

事業概要

妊産婦および胎児の健康保持増進のための健診・相談の他、助産師による産後の相談やケアの充実化を図り、安心して子育てができる支援体制を整備する。また、不妊治療費の一部助成を行い経済的負担の軽減を図る。（産後母子ケア費用助成事業を廃止し、本事業へ包含）

事業内容・効果等

○目的・効果

１　母体の健康保持増進と胎児の健やかな発育を図る。

２　産婦の育児不安や産後うつなどの予防につながる。

３　子どもを望む夫婦の不妊治療に係る費用の負担軽減を図る。

○内容

１　相談・講話・ケア等による支援

（１）妊娠届出の受理および母子健康手帳や妊婦健診受診券の交付

（２）妊婦健康相談（Ｒ５．２月～　出産・子育て応援給付金事業と一体的に行う「伴走型支援」を兼ねて実施）
相談時期：妊娠届出時・妊娠 20 週前後・妊娠 28 週以降

（３）産婦健康診査受診券の交付（２回分）と結果に応じた相談

（４）産後ケア事業（事業所への委託により、宿泊や訪問・デイサービスによる心身のケアや育児サポート等を行う）

（５）助産師による講話・相談（Ｒ７年度より新たに実施）

２　費用助成

低所得者に対する初回産科受診費用助成および不妊治療費助成

○実績

	Ｒ４年度	Ｒ５年度	Ｒ６年度（１月末）
母子手帳交付件数	３３件	３７件	３９件
妊婦相談件数	７９件	９７件	７９件
妊婦健診受診利用件数	６０１件	５３９件	６０３件
産婦健診受診利用件数	６７件	５４件	４７件
産後ケア事業	１件	７件	４件
初回産科受診助成件数		２４件	２４件
不妊治療費助成件数	２６件	１５件	１３件

令和７年度　事業概要書	所 管 課	住民生活課

事 業 名	「星空の街・あおぞらの街」全国大会事業	予算書	９６頁
事 業 費	８，１１０千円		

財源内訳	特　定　財　源　の　内　訳	
	名　　称	金　額
	丘のまちびえいまちづくり基金繰入金	4,000
	いきいきふるさと推進事業助成金	1,000
	地域づくり総合交付金	3,000
	特 定 財 源 合 計	8,000
	一 般 財 源	110

事業概要

「星空の街・あおぞらの街」全国大会は、全国協議会において毎年全国各地に開催地を変えて実施されており、令和７年度は本町において開催する。

事業内容・効果等

○目的・効果

環境省をはじめとした関係機関と全国の協議会加入自治体が美瑛町に集まり、式典や関連行事を通じ、郷土の環境を活かした地域おこしの推進と大気環境保全意識の高揚を図る。全国大会終了後も美しい星空やあおぞらを有する本町に関心が集まることで、地域の魅力向上と経済の活性化が期待できる。

○内容・計画

開催日：令和７年１０月下旬予定

全国大会の式典内では、大気環境保全への啓発・普及等において優れた活動を行った団体及び個人に対して、環境大臣賞等の授与を行うほか、星空・あおぞら報告会や記念講演を実施し、自然環境や空気の大切さを全国に発信する。

１　式典
２　星空観察会
３　歓迎レセプション
４　町内エクスカーション

○費用内訳

負担金補助及び交付金　全国大会事業補助金　8,110 千円

令和７年度　事業概要書	所 管 課	農林課

事 業 名	鳥獣等被害防止対策事業	予算書	１０８頁
事 業 費	２０，０９１千円		

財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳	
	名　　称	金　額
	地域づくり総合交付金	870
	特 定 財 源 合 計	870
	一 般 財 源	19,221

事業概要

エゾシカ捕獲に係る経費や、ヒグマが出没した際のパトロールや問題個体の駆除に係る経費など、野生鳥獣による農作物被害の低減に必要な経費の一部を助成する。

事業内容・効果等

○目的

野生鳥獣（エゾシカ・ヒグマ・アライグマ等）による農業被害の低減を目的とする。

○内容

1　エゾシカ駆除について、継続的な捕獲活動に必要な費用助成や有害駆除を目的とした銃所持及び狩猟免許費用の助成を行う。
2　ヒグマの出没等に伴う、パトロール及び問題個体の排除に要する出動費、捕獲処分費等の費用助成を行う。
3　ヒグマ対策にあたり、正しい知識と技術を習得するための担い手育成研修費用の助成を行う。
4　アライグマ等被害対策として駆除業務委託を行う。
5　電気牧柵等の設置に対する支援を行う。

○費用内訳

1　需用費（消耗品費）	112 千円
2　委託料（アライグマ等駆除委託）	3,438 千円
3　使用料（ひぐまっぷ）	25 千円
4　補助金	
・鳥獣被害防止対策事業補助金	6,116 千円
・エゾ鹿緊急対策事業補助金	10,400 千円

令和７年度　事業概要書	所 管 課	農林課

事 業 名	白金牧場管理運営事業	予算書	１０８頁
事 業 費	１０，６３１千円		

財源内訳

特 定 財 源 の 内 訳	
名　　称	金　額
農業振興基金繰入金	10,000
白金牧場土地貸付料	141
特 定 財 源 合 計	10,141
一 般 財 源	490

事業概要

平成 27 年度に上川生産連より譲渡を受けた施設。譲渡後も町内の酪農家から 8 カ月齢以上の未経産牛の預託を受けることで、酪農家の労務軽減を図り乳量増産に繋げ、また、良質な粗飼料を給餌することで、乳質の向上に努める。

事業内容・効果等

○目的・効果

牧場施設の適正な管理を行い、牛を安心して預託できる環境をつくり、酪農家の飼養頭数増頭にも対応しつつ、乳量の増加を図る。

○内容

１　町内酪農家より育成牛の預託を受ける業務の委託

２　老朽化した給餌機の入れ替えに伴う牛舎の改修工事の実施

○実績

令和 5 年度　預託延べ頭数　67,298 頭

○費用内訳

１　委託料　8,104 千円

２　工事請負費　2,527 千円

令和７年度　事業概要書	所 管 課	農林課

事 業 名	森林環境保全整備事業	予算書	１１６頁
事 業 費	３２，３９４千円		

財源内訳

特　定　財　源　の　内　訳	
名　　称	金　額
丘のまちびえいまちづくり基金繰入金	12,000
森林環境保全整備事業補助金	20,022
特 定 財 源 合 計	32,022
一 般 財 源	372

事業概要

森林経営計画に基づき町有林の間伐、下刈り、地拵え、植付け及び野鼠駆除など森林環境の整備事業を計画的に実施することにより、災害防止対策等や水源涵養、持続可能な森林資源の循環利用など、森林の持つ多面的機能の発揮を促す。

事業内容・効果等

○目的

町有林を計画的に整備し、財産価値の向上と、森林の持つ多面的機能の維持と発揮、保全を図る。

○効果

土砂災害防止等や水源かん養機能、温室効果ガスの削減、山村景観の保全、地域における防風効果など森林が持っている様々な多面的機能の効果が見込まれ、また接続可能な森林資源の循環利用が可能となる。

○内容及び費用内訳

町有林の造林・保育事業等の森林整備を実施する。

１　造林

（１）植付け（二股地区　11.27ha）

工事請負費　2,436 千円

原材料費（苗木代）　3,462 千円

（２）準備地拵え（美望ヶ原地区　11.47ha・白金地区　2.97ha）

工事請負費　8,459 千円

２　下刈り（二股他 3 地区　77.29ha）

工事請負費　17,607 千円

３　野ねずみ駆除空中散布（俵真布他 3 地区　66.81ha）

需用費（駆除剤購入費）　149 千円

委託料　281 千円

○その他参考事項

森林環境保全整備事業補助金　補助率 68%（国 51%、道 17%）

令和７年度　事業概要書	所 管 課	商工観光交流課

事 業 名	電子地域通貨運営事業	予算書	１１８頁
事 業 費	１１７，８８３千円		

財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳	
	名　　称	金　額
	Ｂｅコインチャージ金	106,329
	特 定 財 源 合 計	106,329
	一 般 財 源	11,554

事業概要

美瑛町電子地域通貨「Ｂｅコイン」の運用に係る経費を計上する。

事業内容・効果等

○目的・効果

美瑛町電子地域通貨「Ｂｅコイン」を運用し、地域内の経済循環を図る。

○実績（令和７年１月末現在）

チャージ総額：93,465 千円　　ポイント利用総額：100,175 千円

取扱店舗数：225 店舗

○費用内訳

１　需用費

消耗品購入代　18 千円

２　役務費

（１）チャージ端末通信料　22 千円

（２）チャージ手数料及びポイント発行手数料　2,749 千円

３　使用料及び賃借料

Ｃｈｉｉｃａシステム使用料　5,060 千円

４　備品購入費

決済用端末購入代　275 千円

５　負担金補助及び交付金

（１）チャージポイント換金負担金　106,329 千円

（２）電子地域通貨運営事業事務費補助金　3,430 千円

令和７年度　事業概要書	所 管 課	商工観光交流課

事 業 名	中小企業等経営力強化事業	予算書	１２０頁
事 業 費	１０，０００千円		

財源内訳

特　定　財　源　の　内　訳	
名　　称	金　額
過疎対策（ソフト分）商工業振興事業債	10,000
特 定 財 源 合 計	10,000
一 般 財 源	0

事業概要

経営力を強化するため新規事業への事業拡大や人材確保、労働環境改善による雇用の安定化を図る中小企業等を支援する。

事業内容・効果等

○目的・効果

経営力を強化するため新規事業への事業拡大や人材確保、労働環境改善による雇用の安定化を図る中小企業等を支援し、町内中小企業等の安定的な経営や、持続可能な経営を目指す。

○内容

１　補助率、補助限度額

	対象経費	補助率	補助限度額
新規事業拡大枠	改装費、設備費、広告費	３分の２以内	2,000,000 円
雇用環境整備枠（人材確保）	雇用契約を仲介するサービス利用料	３分の２以内	150,000 円
雇用環境整備枠（業務改善）	人手不足の解消や生産性の向上を図るデジタル機器購入費、リース料等	３分の２以内	500,000 円

２　事業実施主体

美瑛町商工会

令和７年度　事業概要書	所 管 課	商工観光交流課

事 業 名	空き店舗等活用推進事業	予算書	１２０頁
事 業 費	３，４９４千円		

財源内訳

特　定　財　源　の　内　訳	
名　　称	金　額
丘のまちびえいまちづくり基金繰入金	3,400
特 定 財 源 合 計	3,400
一 般 財 源	94

事業概要

商店街地域における空き店舗等の活用を目的に、空き店舗等所有者が行う活用に向けた取組に対して支援を行う。

事業内容・効果等

○目的・効果

商店街地域における空き店舗等の活用を目的に、空き店舗兼住宅の店舗部分と住宅部分の機能分離を行う所有者に対して支援を行う。また、店舗活用に伴う移転費や、残置物の廃棄処分費用に対して補助を行う。

○内容

１　補助率、補助限度額

	対象経費	補助率	補助限度額
店舗兼住宅活用推進枠	改修費 ・店舗部分と住居部分の機能分離に係る費用 ・内装工事、外装工事、給排水工事、電気工事、該当工事と一体で設置する設備 ・電気、水道、ガス等の子メーター設備	２分の１以内	3,000,000 円
転居補助枠	移転費	一律	132,000 円
残置物処分枠	廃棄費	一律	115,000 円

令和７年度　事業概要書	所 管 課	商工観光交流課

事 業 名	観光地混雑状況可視化システム導入事業	予算書	１２４頁
事 業 費	５７，２００千円		

財源内訳

特 定 財 源 の 内 訳	
名　　称	金　額
過疎対策　観光地混雑状況可視化システム導入事業債	20,700
新しい地方経済・生活環境創生交付金	1,650
オーバーツーリズム対策事業補助金	34,800
特 定 財 源 合 計	57,150
一 般 財 源	50

事業概要

観光地混雑状況可視化システムの保守管理と混雑状況可視化カメラ及び侵入検知カメラの増設を行う。

事業内容・効果等

○目的・効果

観光地混雑状況可視化システムの保守管理及び、現在４か所に設置している観光地混雑状況カメラを８か所増設し、観光地の混雑平準化を図る。また、現在２か所に設置している侵入検知カメラを３か所増設し農地等への無断侵入を防止する。

○内容

観光地混雑状況可視化システム保守管理

観光地混雑状況可視化カメラ増設（８か所）

セブンスターの木、北西の丘展望公園、ケンとメリーの木、新栄の丘展望公園、拓真館、白金公共駐車場、白ひげの滝、青い池周辺町道美望ヶ原ビルケ線

侵入検知カメラ増設（３か所）

セブンスターの木、ケンとメリーの木、新栄の丘展望公園

○費用内訳

委託料　　3,300 千円

工事請負費　53,900 千円

令和７年度　事業概要書	所 管 課	商工観光交流課

事 業 名	オーバーツーリズム対策事業	予算書	１２４頁
事 業 費	７，８２８千円		

財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳	
	名　　称	金　額
	オーバーツーリズム対策事業補助金	4,960
	特 定 財 源 合 計	4,960
	一 般 財 源	2,868

事業概要

美瑛町オーバーツーリズム対策協議会開催に係るオブザーバーの招聘と、町内におけるレンタカーや観光バス等の動向を調査・分析しオーバーツーリズム対策立案業務を行う。

事業内容・効果等

○目的・効果

美瑛町オーバーツーリズム対策協議会においてオブザーバーの助言を得て対策計画を策定する。

また、オーバーツーリズム対策立案のため、町内におけるレンタカーや観光バス等の動向を調査・分析する。

○内容

１　美瑛町オーバーツーリズム対策協議会オブザーバーの招聘
２　オーバーツーリズム対策立案におけるデータ活用支援業務

○費用内訳

報酬　　60 千円（20,000 円×3 回）
旅費　　68 千円（美瑛町 1 泊 22,430 円×3 回）
委託料　7,700 千円

令和７年度　事業概要書	所 管 課	文化スポーツ課

事 業 名	十勝岳ジオパーク推進事業	予算書	１３２頁
事 業 費	１４，７６０千円		

財源内訳

特　定　財　源　の　内　訳	
名　　称	金　額
丘のまちびえいまちづくり基金繰入金	8,000
いきいきふるさと推進事業助成金	3,000
自治総合センターシンポジウム助成金	3,000
特 定 財 源 合 計	14,000
一 般 財 源	760

事業概要

十勝岳ジオパークエリア（美瑛・上富良野）の地域資源を保全・活用しながら、地域の特色を生かした活動を専門部会が中心となり取り組む。
・学校教育、社会教育における「命を守る防災教育」等の普及
・ジオガイドの養成とジオツーリズムの展開
・２町共通の商品開発／販売促進網の推進と地域貢献（保全活動への支援）
・地域再発見事業を継続展開

事業内容・効果等

○目的・効果
　本地域の特色である「波状丘陵や十勝岳連峰」の成り立ちや歴史、文化、自然、環境等、住民がその良さを理解し、誇りと自信をもって情報発信を行い、観光や教育に生かしていくことで、持続可能な発展を進めることができる。
　令和７年度は、日本ジオパーク全国大会十勝岳大会の実施及び日本ジオパーク再認定審査の実施を含む。

○内容
　１　学校教育及び社会教育における防災教育等の普及
　２　ジオガイドの養成及びジオツーリズムの展開
　３　日本ジオパーク全国大会十勝岳大会の実施
　４　日本ジオパーク再認定審査の実施

○費用内訳
　１　報酬（会計年度任用職員報酬）　2,016 千円
　２　職員手当等（会計年度任用職員手当）　509 千円
　３　旅費（費用弁償）　24 千円
　４　負担金補助及び交付金　12,211 千円

令和７年度　事業概要書	所 管 課	文化スポーツ課

事 業 名	スケートボード遊具設置事業（まちづくり提案）	予算書	１３４頁
事 業 費	４，２８０千円		

財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳	
	名　　称	金　額
	丘のまちびえいまちづくり基金繰入金	4,000
	特 定 財 源 合 計	4,000
	一 般 財 源	280

事業概要

近年のオリンピックでスケートボード日本代表選手が目覚ましい大活躍をしており、スケートボードの人気が町内でも高まっていることから、屋外スケートボード遊具を設置する。

事業内容・効果等

○目的・効果

町内での競技人口も増えているなか、遊具を設置することにより、更なる競技人口の増加が見込まれ、新たなスポーツの振興に寄与する。

また、子供にとっては運動能力の向上やバランス感覚の向上につながるとともに、共通の仲間と交流することで新たなコミュニティの形成へとつながり、協調性や融和性など日常生活においてさまざまな場面で役立つことが期待できる。

○内容

１　樹脂製スケートボードセクションの設置
２　安全対策等注意書き看板の設置

○費用内訳

１　需用費（消耗品費）　100 千円
２　備品購入費　4,180 千円

令和７年度　事業概要書	所 管 課	文化スポーツ課

事 業 名	野球場改修事業	予算書	１３６頁
事 業 費	６，７６１千円		

財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳	
	名　　称	金　額
	過疎対策　野球場改修事業債	6,700
	特 定 財 源 合 計	6,700
	一 般 財 源	61

事業概要	老朽化したフェンスの張り替え、バックスクリーンの塗装及びピッチャープレートの交換を実施する。

事業内容・効果等	
	○効果 フェンスの張り替え、バックスクリーンの塗装及びピッチャープレートの交換を行い、施設の長寿命化を図るとともに、安全面や景観的にも改善される。 ○内容 １　フェンス改修工事 ２　バックスクリーン塗装工事 ３　ピッチャープレート交換工事 ○費用内訳 工事請負費　　6,761 千円

令和７年度　事業概要書	所 管 課	文化スポーツ課

事 業 名	スポーツセンターボイラー改修事業	予算書	１３６頁
事 業 費	６８，６０９千円		

財源内訳

特　定　財　源　の　内　訳	
名　　称	金　額
自衛的燃料備蓄補助金	10,783
省エネルギー投資促進支援事業費補助金	7,546
緊急防災減災 スポーツセンターボイラー改修事業債	50,200
特 定 財 源 合 計	68,529
一 般 財 源	80

事業概要

スポーツセンターの重油ボイラーは、約２０年経過していることもあり、修繕が必要な状況であることに加え、熱効率が悪く、燃料費が増加しているため高効率ＬＰガスボイラーへ更新する。

事業内容・効果等

○効果

重油からガスへエネルギー転換することにより、燃焼時の二酸化炭素排出量を抑えることができ、環境負荷軽減を図ることができるとともに、当該施設は指定避難所となっており、災害対応型バルクタンクを設置することにより、災害時の際にも対応することができ、レジリエンスの強化につながる。

○内容

１　ＬＰＧボイラー本体及び周辺設備工事
２　ＬＰＧ供給設備バルク貯蔵タンク設置工事

○費用内訳

工事請負費　　68,609 千円

令和７年度　事業概要書	所 管 課	建設水道課

事 業 名	住宅リフォーム等助成事業	予算書	１３８頁
事 業 費	８，０００千円		

財源内訳

特　定　財　源　の　内　訳	
名　　称	金　額
丘のまちびえいまちづくり基金繰入金	6,000
住宅リフォーム等助成事業交付金（国）	1,350
住宅リフォーム等助成事業補助金（道）	500
特 定 財 源 合 計	7,850
一 般 財 源	150

事業概要

既存住宅の省エネルギー化・バリアフリー化・一般改修の改修費の一部について補助を行う。

事業内容・効果等

○目的

町民の誰もが安全で安心して暮らし続けられる住環境の整備を促進するとともに、人口流出の抑止と定住化を図る。

○内容

１　省エネルギー化　助成率 1/2　上限 100 千円
２　バリアフリー化　助成率 1/2　上限 300 千円
３　一般改修　助成率 1/2　上限 100 千円
※対象事業費 100 千円以上

○効果

良質な街並みの維持と良質な住宅ストックの形成を促進する事で、人口流出の抑止と定住促進が期待できる。

○事業計画・費用の内訳

１　省エネルギー化　10 件×100 千円＝1,000 千円
２　バリアフリー化　10 件×300 千円＝3,000 千円
３　一般改修　40 件×100 千円＝4,000 千円　計 8,000 千円

○補助対象者

本町の住民基本台帳に 3 年以上登録されている者で、自らが所有し、居住する築 20 年を経過している住宅を改修する者

○令和６年度実績（事業別）

省エネルギー化	15 件	1,494 千円
バリアフリー化	8 件	2,220 千円
一般改修	42 件	4,088 千円
合計	65 件	7,802 千円

令和７年度　事業概要書	所 管 課	建設水道課

事 業 名	朗根内上俵真布線道路改良舗装事業	予算書	１４０頁
事 業 費	２０，０００千円		

財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳	
	名　　称	金　額
	辺地対策　朗根内上俵真布線道路整備事業債 社会資本整備総合交付金	7,200 12,760
	特 定 財 源 合 計	19,960
	一 般 財 源	40

事業概要

道道天人峡美瑛線と朗根内地区、俵真布地区を結ぶ幹線道路である。舗装の亀裂や路肩が下がるなど、凍上による損傷が著しいため整備を行う。

事業内容・効果等

○目的・効果

道路交通の安全とその円滑化を図るとともに、日常生活の利便性の向上と地域の活性化を図る。

○内容

改良舗装　Ｌ＝56ｍ

○事業計画

１　事 業 期 間　平成 22 年度～令和 15 年度
２　事　業　費　1,900 百万円（概算）
３　事 業 概 要　全体延長Ｌ＝6,240ｍ
　　幅員Ｗ＝9.0ｍ（5.5ｍ＋1.75ｍ×2）

○過去の実績（令和 6 年度まで）

１　事　業　費　625,457 千円
２　事 業 概 要　改良舗装Ｌ＝2,160ｍ
　　改良（Ｌ側のみ暫定施工）Ｌ＝1,040ｍ

○費用の内訳

工事請負費　　20,000 千円

令和７年度　事業概要書	所 管 課	建設水道課

事 業 名	赤羽下宇莫別線道路改良舗装事業	予算書	１４０頁
事 業 費	５０，０００千円		

財源内訳

特　定　財　源　の　内　訳	
名　　称	金　額
過疎対策　赤羽下宇莫別線道路整備事業債	50,000
特 定 財 源 合 計	50,000
一 般 財 源	0

事業概要

現道は未改良で幅員も狭く農作業に支障をきたしており、これらを解消するため整備を行う。

事業内容・効果等

○目的・効果

整備により、安心安全な通行が確保され、農作業効率の向上が図られる。

○内容

改良Ｌ＝320ｍ　舗装Ｌ＝340ｍ

○事業計画

１　事 業 期 間　平成 25 年度～令和 7 年度
２　事　業　費　300 百万円
３　事 業 概 要　全体延長Ｌ＝1,885ｍ
　　幅員Ｗ＝5.5ｍ（4.0ｍ＋0.75ｍ×2）

○過去の実績（令和 6 年度まで）

１　事　業　費　255,618 千円
２　事 業 概 要　改良Ｌ＝1,565ｍ、舗装Ｌ＝1,545ｍ

○費用の内訳

工事請負費　50,000 千円

令和７年度　事業概要書	所 管 課	建設水道課

事 業 名	新区画第１支線道路舗装事業	予算書	１４０頁
事 業 費	２０，０００千円		

財源内訳

特　定　財　源　の　内　訳	
名　　称	金　額
緊急自然災害　新区画第１支線道路整備事業債	20,000
特 定 財 源 合 計	20,000
一 般 財 源	0

事業概要

新区画地区にある町道で、主に農業生産に利用されている郊外でも交通量の多い路線である。未舗装であることで農作業車の交通に支障をきたしているため整備を行う。

事業内容・効果等

○目的・効果

改良舗装により、大型車を含む通行の安全を確保するほか、農産物出荷時の荷痛みを抑え、生産性向上に寄与する。

○内容

排水工　L=450m

○事業計画

１　事業期間　令和７年度～令和 10 年度
２　事 業 費　80 百万円（概算）
３　事業概要　全体延長 L=2,000m
　　幅員 W=6.0m（4.0m+1.00m×2）

○過去実績（令和６年度まで）

なし

○費用の内訳

工事請負費　　20,000 千円

令和７年度　事業概要書	所 管 課	建設水道課

事 業 名	第２号幹線道路改良舗装事業	予算書	１４０頁
事 業 費	１０７，０００千円		

財源内訳

特 定 財 源 の 内 訳	
名　　称	金　額
社会資本整備総合交付金 過疎対策　第２号幹線道路整備事業債	68,266 38,700
特 定 財 源 合 計	106,966
一 般 財 源	34

事業概要

美瑛町地域強靭化計画の重点項目「交通ネットワークの整備」に位置付けられた路線で災害時の物流の幹線であり、避難経路として国道 237 号の代替路の役割を担っているが、現道は狭隘かつ安全な交通の確保が困難となっているため道路整備を実施する。

事業内容・効果等

○目的・効果

快適な通行の確保や地域交通のネットワークの強化につながり、安全な通行が可能となる。

○内容

用地測量・実施設計 L=4,100m　用地買収

○事業計画

１　事業期間　令和 7 年度～令和 11 年度
２　事 業 費　1,293 百万円（概算）
３　事業概要　全体延長 L=4,100m
　　幅員 W=9.0m（5.5m+1.75m×2）

○過去実績（令和６年度まで）

なし

○費用の内訳

１　委託料　106,000 千円
２　用地購入費　500 千円
３　補償金　500 千円

令和７年度　事業概要書	所 管 課	建設水道課

事 業 名	美沢１２線道路改良舗装事業	予算書	１４２頁
事 業 費	２３，０００千円		

財源内訳

特 定 財 源 の 内 訳	
名　　称	金　額
社会資本整備総合交付金 辺地対策　美沢 12 線道路整備事業債	14,674 8,300
特 定 財 源 合 計	22,974
一 般 財 源	26

事業概要

道道十勝岳温泉美瑛線に接続し、美沢共和地区と市街地を結ぶ路線であり、十勝岳火山噴火に伴う避難路及び生活路線を整備する。

事業内容・効果等

○目的・効果

十勝岳噴火災害に伴い沿線住民や観光客などの迅速な避難誘導が図られる。

○内容

用地測量・実施設計 L=550m　用地買収

○事業計画

１　事業期間　令和 7 年度～令和 9 年度
２　事 業 費　180 百万円（概算）
３　事業概要　全体延長 L=550m
　　幅員 W=6.0m（4.0m+1.00m×2）

○過去実績（令和６年度まで）

なし

○費用の内訳

１　委託料　22,800 千円
２　用地購入費　200 千円

令和７年度　事業概要書	所 管 課	商工観光交流課

事 業 名	千代田公園改修事業	予算書	１４６頁
事 業 費	４３，０５４千円		

財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳	
	名　　称	金　額
	辺地対策　千代田公園改修事業債 オーバーツーリズム対策事業補助金	15,900 27,120
	特 定 財 源 合 計	43,020
	一 般 財 源	34

事業概要

千代田公園（拓真館）にインバウンドを中心に観光客が増加しており、駐車場に入りきらない大型バスが路上駐車することで周辺道路が混雑することと公園内の公衆トイレは一部和式が残っていることから、利用者の利便性向上のため、駐車場と公衆トイレの改修を行う。

事業内容・効果等

○目的・効果

千代田公園（拓真館）駐車場を改修し大型バスの駐車スペースを増設することで、大型バスの路上駐車を防止する。また、公衆トイレを改修し一部和式を洋式化するとともに多目的トイレを設置することで観光客の利便性向上を目指す。

○内容

現状の駐車場（乗用車 10 台・バス 6 台）の駐車スペースを見直し、乗用車 14 台・バス 12 台の駐車場に改修しバスの駐車台数を増加する。

また、現状のトイレ（男性用小便器 4・個室 2（洋 1・和 1)、女性用個室 6（洋 4・和 2）を、男性用小便器 4・洋式個室 2・多目的 1、女性用洋式個室 5・多目的 1 に改修し、観光客の利便性を向上する。

○費用内訳

工事請負費　43,054 千円

内訳：駐車場改修 15,290 千円

　　トイレ改修 27,764 千円

令和７年度　事業概要書	所 管 課	建設水道課

事 業 名	くるみ公園改修事業	予算書	１４６頁
事 業 費	２２，０００千円		

財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳	
	名　　称	金　額
	公共施設等整備基金繰入金 社会資本整備総合交付金	10,000 11,000
	特 定 財 源 合 計	21,000
	一 般 財 源	1,000

事業概要

本公園は、昭和６０年に供用開始した公園面積０．２３ｈａの街区公園である。供用開始から３０年以上が経過し、施設の老朽化が目立っている。今後も地域に親しまれる公園となるように美瑛町公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した遊具の改築を行う。

事業内容・効果等

○目的・効果

安全で快適な都市公園機能を確保するため、美瑛町公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化が進み危険度の高い施設の改築更新等を実施する。

○内容

遊戯施設改修一式（遊具２基）

○事業計画

１　事業期間　令和７年度
２　事業費　22 百万円
３　事業概要　街区公園遊戯施設改修一式

○費用の内訳

工事請負費　22,000 千円

令和７年度　事業概要書	所 管 課	建設水道課

事 業 名	旭町３・４丁目６号線道路改良舗装事業	予算書	１４６頁
事 業 費	２３，０００千円		

財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳	
	名　　称	金　額
	公共施設等整備基金繰入金	23,000
	特 定 財 源 合 計	23,000
	一 般 財 源	0

事業概要

舗装の亀裂や縁石の損傷も著しいため、これらを解消するため整備を行う。

事業内容・効果等

○目的・効果
安全安心な通行を確保し、周辺生活環境の改善を図る。

○内容
改良舗装　Ｌ＝ 93m

○事業計画
１　事業期間　令和６・７年度
２　事業費　48 百万円
３　事業概要　全体延長Ｌ＝198m
幅員Ｗ＝8.0m（5.5m+1.25m×2）

○費用の内訳
工事請負費　23,000 千円

令和７年度　事業概要書	所 管 課	建設水道課

事 業 名	花園１丁目２番線道路改良舗装事業	予算書	１４６頁
事 業 費	２０，０００千円		

財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳	
	名　　称	金　額
	公共施設等整備基金繰入金	20,000
	特 定 財 源 合 計	20,000
	一 般 財 源	0

事業概要

舗装の亀裂や縁石の損傷も著しいため、これらを解消するため整備を行う。

事業内容・効果等

○目的・効果
安全安心な通行を確保し、周辺生活環境の改善を図る。

○内容
改良舗装　Ｌ＝ 78m

○事業計画
１　事業期間　令和７年度
２　事業費　20 百万円
３　事業概要　全体延長Ｌ＝78m
幅員Ｗ＝6.5m（5.5m+0.5m×2）

○費用の内訳
工事請負費　20,000 千円

令和７年度　事業概要書	所 管 課	住民生活課

事 業 名	東町団地ストック総合改善事業	予算書	１４８頁
事 業 費	１１，９７９千円		

財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳	
	名　　称	金　額
	社会資本整備総合交付金	4,202
	特 定 財 源 合 計	4,202
	一 般 財 源	7,777

事業概要

東町団地については、浴室の設置はあるものの浴槽及び給湯設備が整備されていないため、入居者に費用負担がかかっている。

現在、空き室となっている４戸について、浴槽及び給湯設備等を整備することにより入居者の居住性向上を図る。

事業内容・効果等

○目的・効果

住戸の居住性向上のため、浴室のユニット化及び給湯設備の設置を行い安心して暮らせる住戸を供給する。

○内容

浴室ユニット化及び三点給湯設備（浴室、洗面、流し台）の設置

○経過

東町団地は昭和５１年から昭和５３年に整備され、耐用年数が経過しているが未だ入居率も高く、今後も継続的な需要が見込まれる。

しかし、入居公募時には浴槽や給湯設備の設置が無く、新規入居者への負担が大きいことから本事業を実施する。

○費用内訳

１　浴室ユニット化、三点給湯（交付金対象）　9,339 千円

２　付帯内装修繕工事（町単独費）　2,640 千円

令和７年度　事業概要書	所 管 課	住民生活課

事 業 名	安心子育て住まい整備事業	予算書	１４８頁
事 業 費	４，５５４千円		

財源内訳

特　定　財　源　の　内　訳	
名　　称	金　額
公共施設等整備基金繰入金	4,000
特 定 財 源 合 計	4,000
一 般 財 源	554

事業概要

旧教員住宅を町営一般住宅として用途変更を行い、洋室化、断熱改善、内外装等の修繕を行い、子育て世帯向け住宅として公募を行う。

事業内容・効果等

○目的・効果
共同住宅で問題となる騒音等を気にすることなく、子育て世帯が安心して居住できる戸建て住宅を供給する事で、若年層の定住化を図る。

○内容
洋室化、サッシ断熱改善、内装、外装、水周り工事等

○経過
公営住宅等長寿命化計画や住生活基本計画の更新時に実施したアンケート調査等により、子育て世帯が騒音等を気にすることなく生活ができる１戸建ての賃貸住宅を望む声があることから、空きのある教員住宅を改修して、子育て世帯向け住宅として賃貸する。

○費用内訳
１　洋室化、断熱改善等改修工事　4,554 千円

令和７年度　事業概要書	所管課	管理課

事業名	学校給食管理運営事業	予算書	１５６頁
事業費	１２２，１５５千円		

財源内訳

特定財源の内訳	
名称	金額
丘のまちびえいまちづくり基金繰入金	109,000
学校教職員等給食費負担金	10,000
特定財源合計	119,000
一般財源	3,155

事業概要

給食調理員の人件費や給食調理に関する光熱水費、消耗品及び給食設備に関する費用や給食費の無償化の費用を計上し、自校給食の管理運営を行う。

事業内容・効果等

○目的・効果

自校で安全な給食の提供することで、安心して子どもを育てられる環境が整えられる。また、給食費の無償化により、保護者の教育的費用の負担軽減が図られる。

○費用内訳

1	報酬	40,796 千円
2	職員手当等	14,842 千円
3	旅費	33 千円
4	需用費	11,908 千円
5	役務費	316 千円
6	委託料	3,260 千円
7	備品購入費	1,800 千円
8	負担金補助及び交付金	49,200 千円
	合計	122,155 千円

令和７年度　事業概要書	所 管 課	管理課

事 業 名	小学校情報教育推進事業	予算書	１６０頁
事 業 費	３７，２２４千円		

財源内訳

特 定 財 源 の 内 訳	
名　　称	金　額
丘のまちびえいまちづくり基金繰入金	18,900
公立学校情報機器整備事業費補助金	15,708
特 定 財 源 合 計	34,608
一 般 財 源	2,616

事業概要

情報化社会に対応できるよう、デジタル教材の導入や各種ソフトウェアに係るライセンスの更新を行う。

また、令和２年度に導入したＧＩＧＡスクール情報端末を更新し、令和８年度から運用が開始できるように整備を行う。

事業内容・効果等

○目的・効果

ＧＩＧＡスクール情報端末とデジタル教材等を活用した授業により、深い学びが促進され児童の学習意欲や学力向上が期待できる。

○内容・計画

ＧＩＧＡスクール情報端末の更新は、北海道の公立学校情報機器整備事業費補助金を使用し、令和７年３月に北海道が行う共同調達により決定された事業者から購入する。令和８年度から運用が開始できるように令和７年度中に初期設定などの作業を行う。

○費用内訳

１	役務費	410 千円
２	使用料及び賃借料	2,764 千円
３	備品購入費	34,050 千円
	合計	37,224 千円

令和７年度　事業概要書	所 管 課	管理課

事 業 名	中学校情報教育推進事業	予算書	１６４頁
事 業 費	２３，５５５千円		

財源内訳

特 定 財 源 の 内 訳	
名　　称	金　額
丘のまちびえいまちづくり基金繰入金	12,800
公立学校情報機器整備事業費補助金	10,487
特 定 財 源 合 計	23,287
一 般 財 源	268

事業概要

情報化社会に対応できるよう、デジタル教材の導入や各種ソフトウェアに係るライセンスの更新を行う。

また、令和２年度に導入したＧＩＧＡスクール情報端末を更新し、令和８年度から運用が開始できるように整備を行う。

事業内容・効果等

○目的・効果

ＧＩＧＡスクール情報端末とデジタル教材等を活用した授業により、深い学びが促進され生徒の学習意欲や学力向上が期待できる。

○内容・計画

ＧＩＧＡスクール情報端末の更新は、北海道の公立学校情報機器整備事業費補助金を使用し、令和７年３月に北海道が行う共同調達により決定された事業者から購入する。令和８年度から運用が開始できるように令和７年度中に初期設定などの作業を行う。

○費用内訳

１	役務費	164 千円
２	使用料及び賃借料	1,134 千円
３	備品購入費	22,257 千円
	合計	23,555 千円

令和７年度　事業概要書	所 管 課	建設水道課水道整備室

事 業 名	中央通り線配水管布設替工事	予算書	２３３頁
事 業 費	８７，０００千円		

財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳	
	名　　称	金　額
	企業債（水道事業債）	87,000
	特 定 財 源 合 計	87,000
	一 般 財 源	0

事業概要

水道施設の老朽化に伴う計画的な更新に併せて、自然災害に備えた施設の強靭化対策のため配水管の材質を耐震管へ変更する。（塩化ビニール管から水道配水用ポリエチレン管）

事業内容・効果等

○目的・効果
安全・安心で安定的な水道水の供給と施設の強靭化対策を図る。

○内容・計画
町道中央通り線配水管布設替
令和７年度　ＨＰＰＥφ150　Ｌ＝370m
令和８年度　ＨＰＰＥφ150　Ｌ＝277m

○実績・経過
設置から 47 年経過（昭和 52 年度設置）

○費用内訳
工事請負費　87,000 千円
起債充当率　100％

○その他参考事項
関係法令
水道法、道路法

令和７年度　事業概要書	所 管 課	建設水道課水道整備室

事 業 名	南町栄町線配水管布設替工事	予算書	２３３頁
事 業 費	３４，０００千円		

財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳	
	名　　称	金　額
	企業債（水道事業債）	34,000
	特 定 財 源 合 計	34,000
	一 般 財 源	0

事業概要

水道施設の老朽化に伴う計画的な更新に併せて、自然災害に備えた施設の強靭化対策のためダクタイル鋳鉄管の仕様を耐震管へ変更する。（ダクタイル鋳鉄管Ｔ形からダクタイル鋳鉄管ＧＸ形）

事業内容・効果等

○目的・効果
安全・安心で安定的な水道水の供給と施設の強靭化対策を図る。

○内容・計画
町道南町栄町３丁目線配水管布設替
令和７年度　ＤＣＩＰ（ＧＸ）φ200　Ｌ＝200ｍ
令和８年度　ＤＣＩＰ（ＧＸ）φ200　Ｌ＝220ｍ

○実績・経過
設置から 42 年経過（昭和 56 年度設置）
令和 2，5 年度漏水事故発生管路

○費用内訳
工事請負費　34,000 千円
起債充当率　100％

○その他参考事項
関係法令
水道法、道路法

令和７年度　事業概要書	所 管 課	建設水道課水道整備室

事 業 名	置杵牛第１配水池水位計新設工事	予算書	２３３頁
事 業 費	１０，３００千円		

財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳	
	名　　称	金　額
	特 定 財 源 合 計	0
	一 般 財 源	10,300

事業概要

置杵牛第１配水池において、上流側減圧水槽内の機器故障にて配水池流入量減少により配水池水位低下となる水道事故が発生していることから、水位管理に必要な設備機器の設置による監視体制の強化を図り、安定的な水道供給のため新設する。

事業内容・効果等

○目的・効果
安定的な水道供給のため維持管理の強化を図る。

○内容・計画
水位計新設

○経過
置杵牛第１配水池
設置から 27 年経過（平成 8 年度設置）

○費用内訳
工事請負費　10,300 千円

○その他参考事項
関係法令
水道法

令和７年度　事業概要書	所 管 課	病院事務局

事 業 名	医療機器購入一式	予算書	３２５頁
事 業 費	６８，２６７千円		

財源内訳

特 定 財 源 の 内 訳	
名　　称	金　額
一般会計負担金（過疎債） 企業債（病院事業債）	33,800 33,900
特 定 財 源 合 計	67,700
一 般 財 源	567

事業概要

本町の医療機能の維持及び安定した診療体制を確保するため、耐用年数を超過する医療機器を更新する。

また、患者サービスの充実及び向上のため、既設ネットワークシステムの機能拡充として、電子カルテシステムを導入する。

事業内容・効果等

○目的

耐用年数を超過する医療機器の更新及び既設ネットワークシステムの機能拡充を行い、医療提供の充実を図るとともに、患者サービスの向上を図る。

○内容

1　生化学分析装置（平成 22 年購入）
2　乾式ホットパック装置（平成 13 年購入）
3　電子カルテシステム（令和 4 年購入）
4　間接変換 FPD 装置（平成 22 年購入）
5　LED 医療用処置灯（平成 10 年購入）

○費用内訳

1　備品購入費　68,267 千円
（１）生化学分析装置　13,392 千円
（２）乾式ホットパック装置　534 千円
（３）電子カルテシステム　49,622 千円
（４）間接変換 FPD 装置　4,235 千円
（５）LED 医療用処置灯　484 千円

○起債対象及び充当率

1　起債対象　耐用年数 5 年以上
2　充当率　1/2
※LED 医療用処置灯（耐用年数 4 年）対象外